

今すぐ
始めよう！

学校推薦型・総合型選抜対策

すでに学校推薦型・総合型選抜と決めているキミも、まだ選抜区分を決め切れていないキミも、基礎知識を押さえておこう。

Q1 キミに合った 選抜区分はどっち？

学校 推薦型 選抜

高校生活でのがんばりが評価される

- ① 出身高校の推薦書が必要（一部例外有）
- ② 公募制、指定校制などのタイプがある
- ③ 指定校制は校内での選考に勝ち抜く必要がある
- ④ 選考内容は書類審査、小論文、面接が多い
- ⑤ 専願が条件の場合もあるので要注意

総合型 選抜

大学とのマッチ度や意欲が重視される

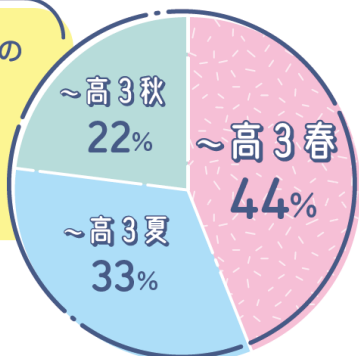
- ① 出願条件や選考方法は大学によってさまざま
- ② 面接、小論文などによる人物評価が中心
- ③ 学力試験は課す大学と課さない大学がある
- ④ 多くの学校で12月までに合否が確定する
- ⑤ 選考期間が長いため、万が一に備えた受験プランが重要

Q2 いつから対策を 始めるべき？

大学生に聞いてみた！

学校推薦型・総合型選抜※の
具体的な対策は
いつ頃から行うのがよい
と思いますか？

※旧名称は推薦・AO



学校推薦型・総合型選抜（旧推薦・AO含む）を受験した先輩に聞いてみると、高3の春までに始めた人が多かった。指定校推薦の場合、夏に校内選考を行う高校が多かったり、オープンキャンパスの参加が必須となっている大学があったりと、夏前から準備しておきたい内容も多い。志望校の選抜情報を調べる、先生に相談しておくなど、早めにリサーチを済ませておきたい。

← 「マナビジョンブック」2021 大学生アンケートより
※構成比は小数点以下を四捨五入しているため、合計が100になりません。

Q3

いつの？
したら？
今、何を

志望校の入試に関する出願条件や選考内容を調べよう。学校推薦型選抜に関しては、情報が公表されないため高校の先生に早めに相談するのが◎。どんな選考内容でも、基本となるのは志望校に対する深い理解に基づいた志望理由と自己PRだ。

そのためには、大学パンフを活用し、アドミッション・ポリシーはもちろん、学びの内容や特色などを深く理解しておくこと。募集要項がまだ公表されていなくても、志望理由が高確率で問われるので、今のうちに志望理由書の完成度を高めておこう。

Q4 合格を勝ち取るための受験スケジュールは？



動画でわかる！
学校推薦型・総合型選抜はこちら

